

地球～ジオ～を 知る・学ぶ・楽しむ

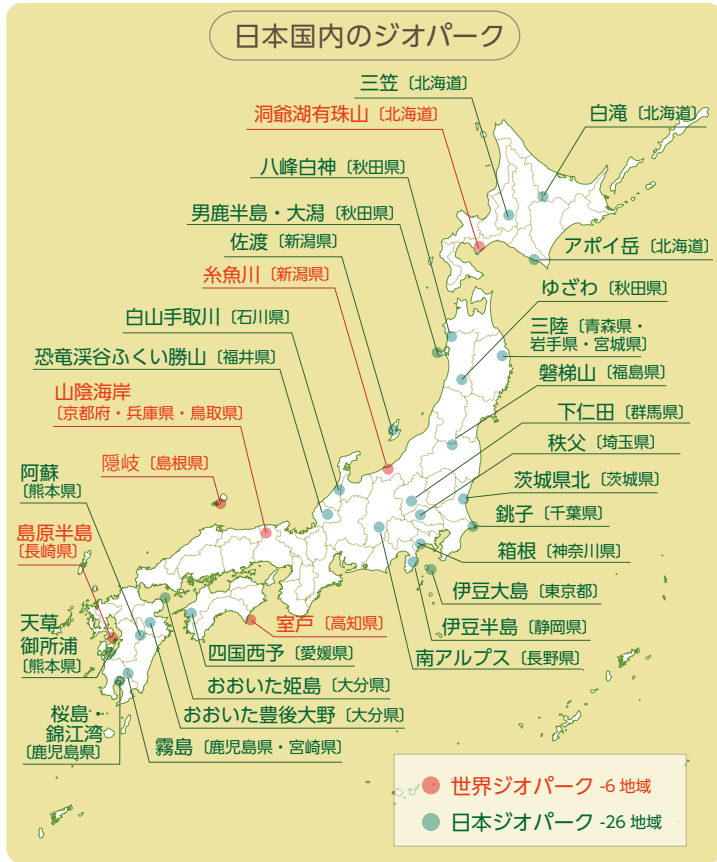
地球の鼓動を感じられるジオパーク。

ジオ～地球・大地～ パーク～公園～

ジオパークとは、美しい自然景観や学術的にも価値を持つ地層などを用いて、その地形や地球の成り立ちを知り、それらと私たちとの関わりを楽しく、正しく学び、体感することができる自然公園のことです。

私たちが生活する地球を肌で感じ、学び、楽しむことができる場所です。

ジオパークを知る・学ぶ・楽しむ



ジオパークと世界遺産

世界遺産は、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が制定するもので、「文化遺産」と「自然遺産」、両者の要素を兼ね備えた「複合遺産」があり、主に保護を目的としています。

これに対し、ジオパークはユネスコの支援によって平成16年に設立された組織「世界ジオパークネットワーク」が進めている活動で、地球科学的価値を持つ「大地の遺産」を壊さずに、地域の教育や科学振興、観光事業に活用し、継続することが求められる方法で地域を活性化させることが求められます。持続的な方法で地域を盛り上げること

ジオパークの現在

現在日本には、日本ジオパーク委員会が認定した32地域の「日本ジオパーク」があります。また世界には、世界ジオパークネットワークが認定した「世界ジオパーク」があります。現在、その数は世界29カ国100地域(平成25年9月現在)で、日本からは長崎県島原半島などの6地域が、世界ジオパークに認定されています。

が目的のジオパークは、通常4年ごとの再審査によってその適正や活動度がチェックされ、常にその品質の維持と向上が要求されることとなります。

ジオパークになるための主な条件

- 学術的・文化的に貴重な地形・地質遺産(ジオサイト)などが複数あること
- ジオサイトを活用した人々の暮らしや文化、歴史があること
- ジオツーリズムなどにより、誰もがジオサイトの貴重さや素晴らしさを学習・体験できる観光・教育の環境が整備されていること
- などが必要な条件とされています。

ジオパークの魅力は地域住民や観光客により魅力的に、正しく伝えるためには、さまざまな整備が必要です。例えば、訪れた方にその場所がジオパークであるということがわかるような看板や各ジオサイトの見どころがわかりやすく表示された解説板、ジオサイトまでの案内標識の整備が必要です。また、ジオサイトのパンフレットやガイドブック、ポスター、ジオパークに関連した商品、さらにジオサイトの魅力をわかりやすく観光客に案内するガイドやスタッフの整備などが必要となります。

ジオパークになるために必要なこと

ジオサイト
ジオパークの見どころのこと。

ジオツーリズム
ジオサイトを巡りながら、その大地の遺産と人々との関わりを楽しむながら知る観光のこと。

ジオパークの事業は多方面にわたるため、行政や民間組織がそれぞれ推進するのではなく、地域が一丸となってジオパークを盛り上げようとする積極的な態勢が重要となってきます。

